

シュローダー・マルチアセット・ビュー

グローバル市場見通し

2023年
4月

見通しの表示： ● 強気 ● 中立 ● 弱気 矢印：対前月での見通しの引き上げ/引き下げ

株式	国債	社債	コモディティ（商品先物）
企業の業績下方修正の可能性がある中、株価への織り込みがまだ完全には済んでいないと考えられることから、弱気に見通しを引き下げました。	インフレにピークアウト感があり、労働市場のひっ迫感も緩和し始め、景気も減速基調にあることは、金利にとっては前向きであると判断し、強気の見通しを維持しています。	景気には減速感があり、現在のスプレッドは明らかに魅力的な水準というわけでもないことから、中立の見通しを維持しています。	供給サイドや在庫は安定していると考えられることから、中立の見通しを維持しています。

資産クラス	分類	見通し
株式	米国	足元の株価バリュエーションに加え、今後の景気減速の影響を勘案し、慎重なスタンスを示すため、見通しを一旦弱気に引き下げました。
	欧州	労働市場にタイト感があり、金利も高まったことは、企業収益の圧迫要因になると考えて、見通しを弱気に引き下げました。
	日本	グローバルに景気が減速基調に入ると考えており、シクリカルな特性を有する日本株式に対しては、見通しを弱気に引き下げました。
	アジア（除く日本）	中国については、経済活動が全般的に改善していることから強気の見通しを維持しています。中国以外のアジアについては、グローバルな景気減速の影響を受ける可能性があるとして、注視しています。
	新興国	足元でのグローバルな景気減速を勘案し、見通しを中立で維持しています。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。


シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

シュローダー・マルチアセット・ビュー グローバル市場見通し

2023年
4月

資産クラス	分類	見通し
国債	米国	 3月の銀行セクターの緊張以降、市場参加者の間では、FRB（米連邦準備制度理事会）が現行の金融引き締め策を緩める可能性があるとの議論されており、今後の金利低下も期待できます。
	欧州 (ドイツ国債)	 ECB（欧州中央銀行）のタカ派発言から、金利は上昇したものの、域内景気は依然底堅い状況が続いており、中立の見通しを維持します。
	新興国 (現地通貨建て)	 投資家心理が軟化基調にあることが、新興国資産にとっては重しとなる可能性があることについては、前月に変わりなく、見通しは中立のままとしています。
	インフレ連動債	 インフレの低下が見込まれることから、引き続き名目債券でエクスポージャーを取ることを選好しています。
投資適格社債	米国	 当面様子見のスタンスをとり、中立の見通しを維持します。但し、金利高とグローバルな景気減速を考慮すると、ファンダメンタルズの観点からは、相対的には前向きにみられると考えています。
	欧州	 バリュエーションの魅力度が他地域と比べて高いことから、投資機会を見計らっていますが、足元での不透明感を考慮し、中立の見通しを維持しています。
	新興国 (米ドル建て)	 一部の新興国において債務懸念が高まるなど、脆弱性が露呈している点を注視しています。見通しは中立を維持しています。
ハイイールド社債	米国	 ファンダメンタルの観点で金利上昇の影響を受けやすいと考える点には変わりなく、足元中立の見通しを維持しています。
	欧州	 他地域に比した相対的なバリュエーション面での魅力度、質等は評価できると考えていますが、足元では中立の見通しを維持しています。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

資産クラス	分類	見通し
コモディティ (商品先物)	エネルギー	 中国のジェット燃料の需要増、底堅く推移するロシアの原油供給、グローバルな景気減速に伴う需要減等を勘案すると、原油需給は概ねバランスが取れていると考えます。
	金	 グローバルな景気減速や実質金利のピークアウト感、ドル安は金価格の上昇材料で、当面こうした支援材料があることから、見通しを強気に転換しました。
	産業用金属	 グローバルな景気減速や、中国の建設セクターの活動が通常水準まで鈍化することなどから、中立な見通しを維持します。

資産クラス	分類	見通し
通貨	米ドル	 米国ではインフレ率にピークアウトの兆しが出てきた一方、欧州は労働市場にタイト感があるため、FRBの金融引き締めへの停止はECBの前になる可能性があります。従って、米ドルに対しては、相対的な魅力度が低下すると考え、見通しを弱気に転換しました。
	ユーロ	 米国に比べた相対的な経済成長や、インフレの継続により、対米国での金利差縮小が予想されます。そのことが、相対的なユーロ高要因になると考え、見通しを強気に転換しました。
	日本円	 市場参加者の注目が、インフレから景気減速に移行する中で、日本円の逃避通貨としての価値が再評価される可能性があります。しかし、日銀のイールドカーブ・コントロール政策が転換される可能性もあり、中立の見通しを維持します。

出所：シュローダー。社債に関する見通しは信用スプレッド(デレージョン・ヘッジを前提)の動きに基づくものです。ユーロと日本円は対米ドルの見通しとなります。

【本資料に関するご留意事項】 本資料は、情報提供を目的としてシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、いかなる有価証券の売買の申込み、その他勧誘を意図するものではありません。本資料に示されている運用実績、データ等は過去のものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。投資資産および投資によりもたらされる収益の価値は上方にも下方にも変動し、投資元本を毀損する場合があります。また外貨建て資産の場合は、為替レートの変動により投資価値が変動します。本資料中に記載されたシュローダーの見解は、策定時点で知りうる範囲内の妥当な前提に基づく所見や展望を示すものであり、将来の動向や予測の実現を保証するものではありません。市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。本資料は、作成時点において弊社が信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますが、内容の正確性あるいは完全性については、これを保証するものではありません。本資料を弊社の許諾なく複製、転用、配布することを禁じます。シュローダー/Schrodersとは、シュローダーplcおよびシュローダー・グループに属する同社の子会社および関連会社等を意味します。

最終ページの「本資料に関するご留意事項」を必ずご覧ください。本資料に記載された見解はシュローダーのエコノミクス・チームによるものであり、必ずしも他のシュローダーの見解と同一であるとは限らず、シュローダーが提供する運用戦略やポートフォリオに反映しているものでもありません。将来の動向や予測の実現を保証するものではなく、市場環境やその他の状況等によって将来予告なく変更する場合があります。予測値は将来の傾向を例示することを目的とするものであり、その実現を示唆あるいは保証するものではありません。実際には予測値と異なる結果になる場合があります。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第90号

加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会